

労働政策フォーラム シニア層の労働移動
—就労・活躍機会の拡大に向けて—

キャリア人材バンクにおける シニア層のマッチングの傾向と特徴

公益財団法人 産業雇用安定センター理事長
岡崎淳一

きっとみつかる いい人、いい仕事
 公益財団法人 産業雇用安定センター

産業雇用

検索



産業雇用安定センターについて

プラザ合意に伴う円高不況の進行により、大量の余剰人員が生まれ雇用不安が高まっていた時代、1987年（昭和62年）

3月に当時の **労働省、日経連、産業団体**※などが協力して **失業なき労働移動** を支援する **公的機関** として設立されました。

以来、厚生労働省、経済・産業団体や連合（労働組合）などとの密接な連携のもとに、本部と全国47都道府県の地方事務所との連携による全国的なネットワークにより出向・移籍の支援事業に取り組んでいます。

主な事業は、人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間に立って、情報提供・相談等の支援を行い、出向・移籍の成立に結び付ける「**人材の橋渡し**」の業務 **無料** で実施しています。

※ 基本財産出捐団体

一般社団法人 日本造船工業会
一般社団法人 日本鉄鋼連盟
電気事業連合会
一般社団法人 全国銀行協会
一般社団法人 日本自動車工業会
一般社団法人 日本電機工業会
一般社団法人 セメント協会
日本化学繊維協会
日本製紙連合会
日本石炭協会
日本紡績協会
一般社団法人 日本民営鉄道協会
一般社団法人 日本船主協会



雇用調整等のニーズのある **1** 企業様（送出）と **2** 雇い入れご希望の企業様（受入）との間で人材マッチングサービスを提供しています。

産業雇用安定センターの主要な事業

(センターの事業)

(送り出し側の企業のニーズ)

(受入側の企業のニーズ)

1. 構造変化に対応した企業間の 人材の移籍

事業縮小・事業所閉鎖、構造改革等
のため早期退職・リストラを実施する企業



人手不足や事業拡大に伴い
人材確保が必要な企業

2. 一時的な環境変化に対応した 在籍型出向

経済環境の変化、感染症の影響など
により、一時的に雇用が過剰となった企業



人手不足のため一時的にでも
人材を確保したい企業

3. 社員の人材育成やキャリア アップのための在籍型出向

新たな事業を展開するなどにより社員
の人材育成やキャリアアップを図りたい企業



他社からの出向受入や交流
によって、ノウハウを取得したい企業

4. 高齢者のための 「キャリア人材バンク」

(定年退職予定者等のセカンドキャリア)

- ・ 在職している定年退職予定者や継続雇用が終了する高齢者の再就職を支援（事業主を経由して登録）
- ・ 60歳以上で離職後1年未満の高齢者の再就職を支援（個人での登録）

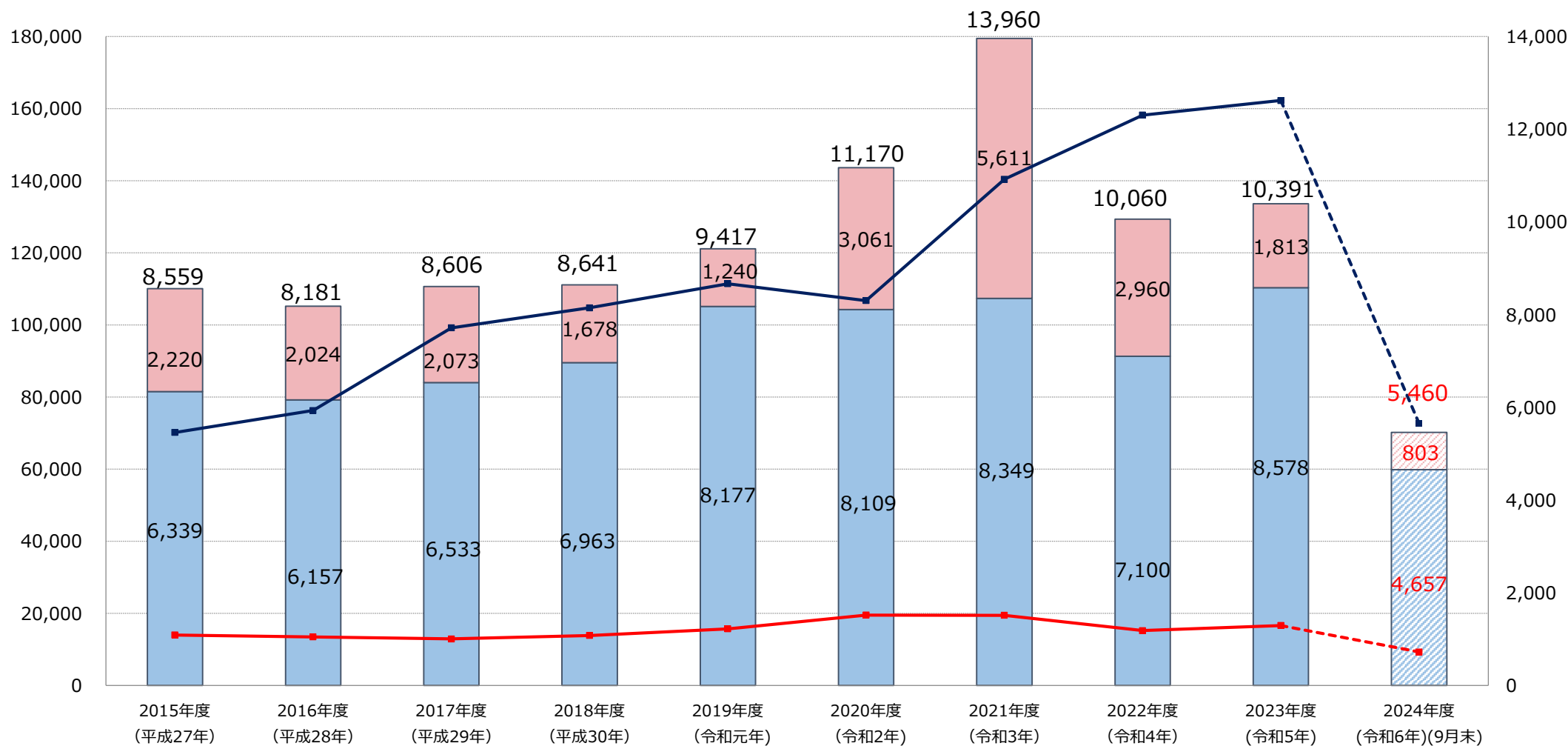


- ・ 高齢者の豊富な経験と高いスキルを活かしたい企業
- ・ 高齢者の体力や希望に即した仕事がある企業

出向・移籍の実績の推移

受入・送出情報（人）

成立数（人）



出向成立	2,220	2,024	2,073	1,678	1,240	3,061	5,611	2,960	1,813	803
移籍成立	6,339	6,157	6,533	6,963	8,177	8,109	8,349	7,100	8,578	4,657
成立合計	8,559	8,181	8,606	8,641	9,417	11,170	13,960	10,060	10,391	5,460
受入情報	70,167	76,253	99,165	104,732	111,421	106,727	140,403	158,178	162,239	72,681
送出情報	13,963	13,453	12,906	13,853	15,675	19,489	19,454	15,208	16,620	9,271

日本商工会議所 東京商工会議所

「多様な人材の活躍に関する重点要望」 (2023年12月21日) より抜粋

3. シニアの活躍推進

シニアの活躍推進は、人手不足への対応のみならず、スキルやノウハウの伝承という観点からも重要であり、就業意欲のあるシニアと企業の採用ニーズとの適切なマッチング等を通じてシニアのさらなる活躍推進を図るべきである。**公益財団法人産業雇用安定センターが展開する、就労意欲が高い60歳以上の高年齢者を事業者で紹介する「キャリア人材バンク」事業をはじめ、中小企業への円滑な労働移動のサポートを目的に、当事業をはじめとした高年齢者と中小企業とのマッチング事業の周知およびさらなる充実を図りたい。**

[具体的要望項目]

○シニア人材と中小企業のマッチング強化

就業意欲の高いシニア人材と中小企業のマッチングの支援の強化 (**産業雇用安定センターによるキャリア人材バンク等マッチング支援の強化**、雇用関係によらない活躍の場の拡大に向けた支援の創設)

「第24回 新しい資本主義実現会議への意見」 (2024年2月27日) より抜粋

日本商工会議所
会頭 小林 健

[労働移動の円滑化について（企業内・企業間）]

- 企業内の労働移動や定年制度の見直しは、個々の企業がその実態を踏まえ、労使のコミュニケーションを通じ検討、実施すべきもの。中小企業は従前より必要に迫られる形で、タスクシェアやシニアの継続雇用に取り組んでいる。
- 企業間の労働移動については、既に転職希望者は1千万人を超え、転職斡旋の分野で民間企業が活発に活動している。多くの中小企業経営者が自社で育成した人材の流出に極めて強い懸念と危機感を持っている点は十分理解されたい。

[労働供給制約社会において地方・中小企業が成長を実現するために]

- 労働供給不足が避けられない中、中小企業には賃上げとともに、徹底した省力化、従業員教育の強化、シニア・女性・外国人など多様な人材の活躍を進め、少数でも事業を継続し成長できる体制の構築に向け、自己変革に取り組むことが求められる。

(中略)

- 政府には引き続き、中小企業の自己変革を力強く後押しするべく、デジタル化・ロボット活用等の支援や公的職業訓練の抜本的な強化・拡充、ハローワークや **産業雇用安定センター等によるシニア人材のマッチングなどの取組を進めていただきたい。**

キャリア人材バンクの概要

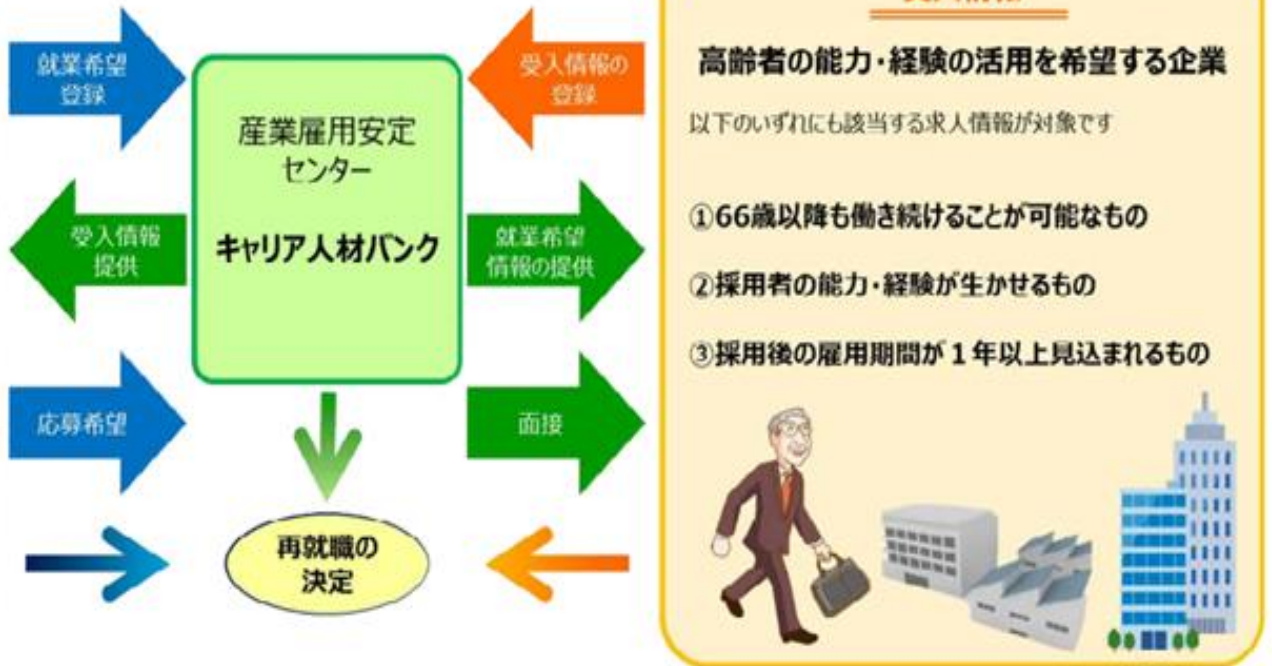
国の一億総活躍プランに基づき、生涯現役社会の実現に向けて高齢者の就業促進を図るため、その有する能力・希望等に応じて、65歳を超えて雇用が可能な企業に紹介してマッチングを行います

事業概要

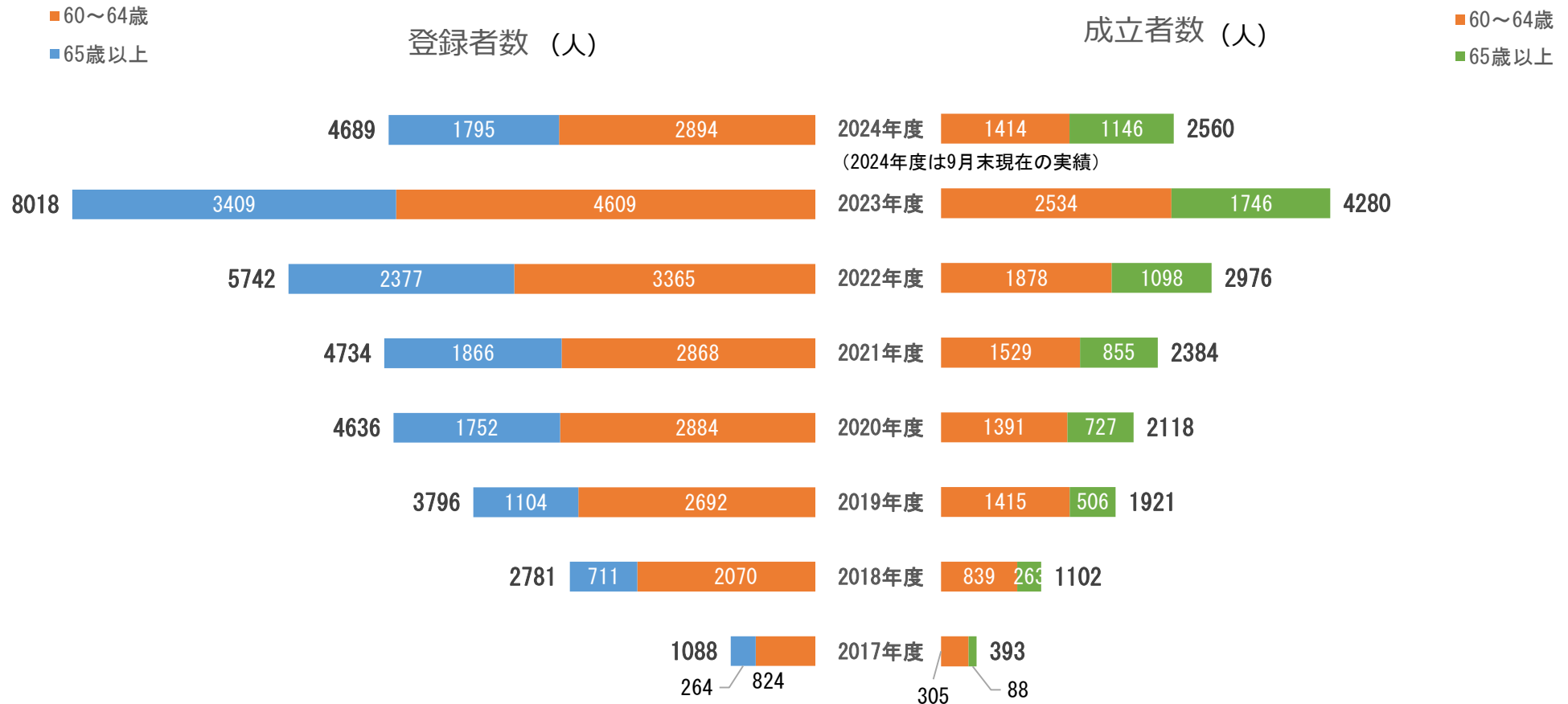
登録者情報

自らの能力・経験を生かし66歳以降も働くことを希望する方

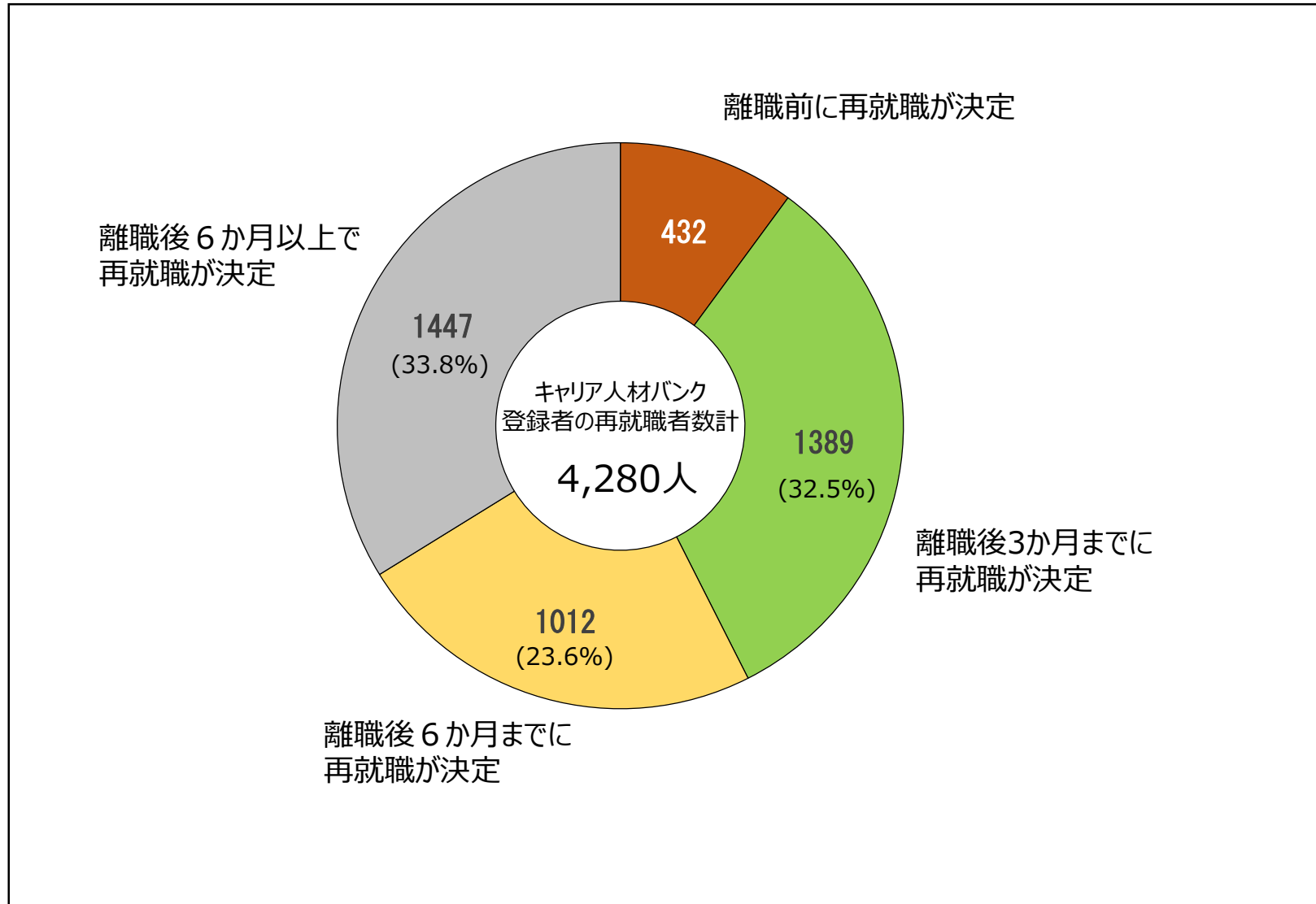
事業主経由での登録の場合	個人登録の場合
事業主様を通じてご登録ください	ご来所の上ご登録ください
対象者	対象者
60歳以上の在職者の方で 雇用契約期間の満了（※）後に 再就職を希望する ※定年、継続雇用終了、有期雇用契約期間満了により離職する場合があります	60歳から70歳以下の方で 下記のいずれかに該当する方 ・ 在職者で再就職を希望する ・ 離職後1年以内の離職者で 再就職を希望する



キャリア人材バンク登録者の年齢別登録者・成立状況



キャリア人材バンク登録者の再就職決定の時期



No.	企業の業種	送出者の主な職歴等	送出者の成立時の年齢	企業の業種 (従業員人数)	採用職種	職務内容
大企業から中小企業への成立事例						
No.1	鋳鉄管製造業	・機械製造技術者 ・グループ子会社の経営	64歳	産業用機械器具製造業 (約30人)	工場管理職	機械に関する技術指導、プロジェクト管理、経営者サポート等
No.2	民生用電気機械器具製造業	・人事労務管理 ・課長職	63歳	食料・飲料卸売業 (約300人)	総務部長	人事制度構築、就業規則構築・労務管理等
No.3	電機機械器具製造業	・機械設計技術者 ・民生用コネクタの開発	60歳	精密加工部品等製造業 (約290人)	開発技術者	精密加工部品等の開発・設計業務、技術指導
No.4	電子部品製造業	・電気・電子・電気通信製造技術者 ・品質管理	60歳	産業機械製造業 (約120人)	工場品質管理	工場管理（QC、5S活動等含む）、品質・生産性向上、ISOマネジメント管理
異業種から福祉業界への成立事例						
No.5	旅客運送業	・経営企画 ・関連企業取締役 ・社内年金事務局理事	66歳	老人福祉・介護事業 (約30人)	総務事務員	訪問介護ステーションにおける事務業務（電話対応、データ入力、給与計算、労務管理）
No.6	電気通信 情報サービス業	・総務管理職 (拠点施策立案、施設管財管理、BCP対策等)	60歳	老人福祉・介護事業 (約250人)	施設長	事業所運営の総括、防災管理、指定管理業務の総括、関係市区町村との連絡調整等
ファーストフード業界等への成立事例						
No.7	小売業（百貨店）等	・営業販売事務 ・百貨店販売員	65歳	ファーストフード店	フロアスタッフ	配膳、客席案内、清掃等 ・週4～5日程度 ・週20～30時間程度

2023年度【職種別】キャリア人材バンク 受入・送出・成立数一覧(上位30職種)

1. 受入職種

CB 受)受入職種(中)名	受入人数
居住施設・ビル等の管理の職業	3,952
清掃・洗浄作業員	1,322
販売員	1,192
警備員	1,065
その他の総務等事務の職業	945
飲食物調理の職業	717
営業の職業	449
その他の運搬・清掃・包装・選別等の職業	441
荷役・運搬作業員	434
一般事務・秘書・受付の職業	432
その他のサービスの職業	400
施設介護の職業	382
法人・団体等の管理職員	376
その他の保安の職業	373
情報処理・通信技術者(ソフトウェア開発)	329
建築・土木・測量技術者	302
開発技術者	294
施設機械設備操作・建設機械運転の職業	292
総務・人事・企画事務の職業	281
情報処理・通信技術者(ソフトウェア開発を除く)	259
乗用車運転の職業	244
福祉・介護の専門的職業	244
製品製造・加工処理工(食料品等)	230
製品製造・加工処理工(金属製品・食料品等を除く)	180
接客・給仕の職業	173
貨物自動車運転の職業	141
学童保育等指導員、保育補助者、家庭的保育者	138
製造技術者	135
機械整備・修理工	126
会計事務の職業	124

全職種計 18,082

2. 希望職種

CB 送)希望職種(1)_(中)名	送出人数
その他の総務等事務の職業	890
一般事務・秘書・受付の職業	673
法人・団体等の管理職員	512
居住施設・ビル等の管理の職業	418
販売員	416
総務・人事・企画事務の職業	391
営業の職業	317
その他の運搬・清掃・包装・選別等の職業	255
製造技術者	216
会計事務の職業	193
開発技術者	168
営業・販売関連事務の職業	162
飲食物調理の職業	161
清掃・洗浄作業員	156
その他の管理的職業	151
配送・集荷の職業	147
情報処理・通信技術者(ソフトウェア開発を除く)	130
警備員	116
荷役・運搬作業員	109
機械組立工	105
その他のサービスの職業	98
製品製造・加工処理工(金属製品・食料品等を除く)	96
接客・給仕の職業	96
福祉・介護の専門的職業	89
施設介護の職業	83
図書館司書、学芸員、カウンセラー(医療・福祉施設を除く)	80
製品製造・加工処理工(金属製品)	76
製品製造・加工処理工(食料品等)	73
生産関連の職業(塗装・製図を含む)	72
その他の法務・経営・文化芸術等の専門的職業	71

全職種計 8,018

3. 成立受入職種

CB 成立 受)受入職種(中)名	成立人数
その他の総務等事務の職業	380
居住施設・ビル等の管理の職業	376
一般事務・秘書・受付の職業	318
販売員	252
清掃・洗浄作業員	190
警備員	159
法人・団体等の管理職員	141
総務・人事・企画事務の職業	133
飲食物調理の職業	131
その他の運搬・清掃・包装・選別等の職業	117
配送・集荷の職業	102
営業の職業	90
会計事務の職業	87
福祉・介護の専門的職業	82
その他のサービスの職業	76
施設機械設備操作・建設機械運転の職業	73
荷役・運搬作業員	70
施設介護の職業	64
営業・販売関連事務の職業	64
接客・給仕の職業	62
その他の管理的職業	57
製造技術者	57
乗用車運転の職業	57
製品製造・加工処理工(食料品等)	56
開発技術者	47
学校等教員	44
情報処理・通信技術者(ソフトウェア開発を除く)	42
図書館司書、学芸員、カウンセラー(医療・福祉施設を除く)	42
製品製造・加工処理工(金属製品・食料品等を除く)	39
建築・土木・測量技術者	38

全職種計 4,280

※ 「その他の総務等事務の職業」には、公的機関における事務補助員などが該当
「その他のサービスの職業」には、営業窓口等での受付補助などが該当
「その他の管理的職業」には、施設の運営管理、施設の施設長補佐などが該当

「その他の運輸・清掃・包装・選別等の職業」には、施設等の用務員、構内での軽作業などが該当
「その他の保安の職業」には、工事現場、イベント会場等での誘導員などが該当

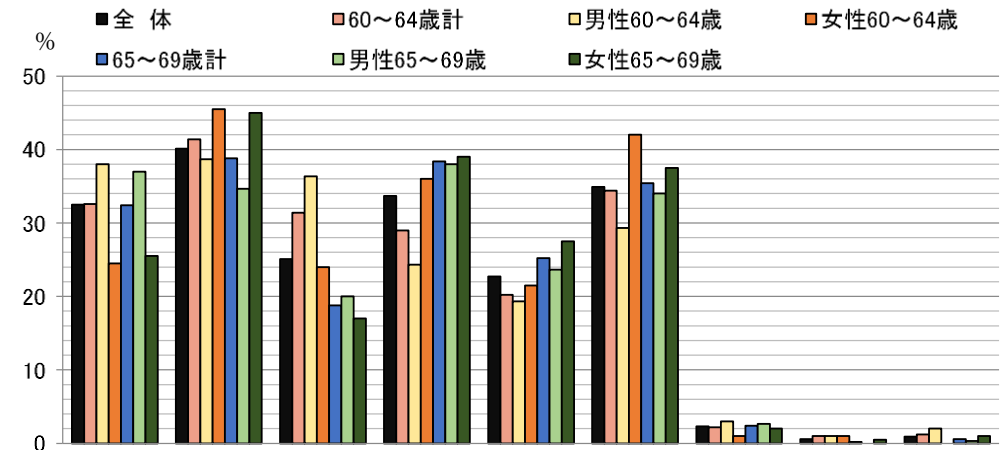
60代シニア層のうち、60代前半の男性は50代までと変わらない働き方を、その他の層は働きやすい仕事や職場、日数や時間を重視する者が多い

1 仕事探しで重視するもの

シニア層全体では「仕事内容や職場の働きやすさ」が4割で最多、次いで、「就業場所・通勤時間」、「就労日数・就業時間」が多い。

男性60～64歳では、「これまでの職業経験・知識を活かせる」、「給与」が上位となり、それ以外の各層と傾向が異なった。

図1 仕事探しで重視するもの（2つまでのMA）

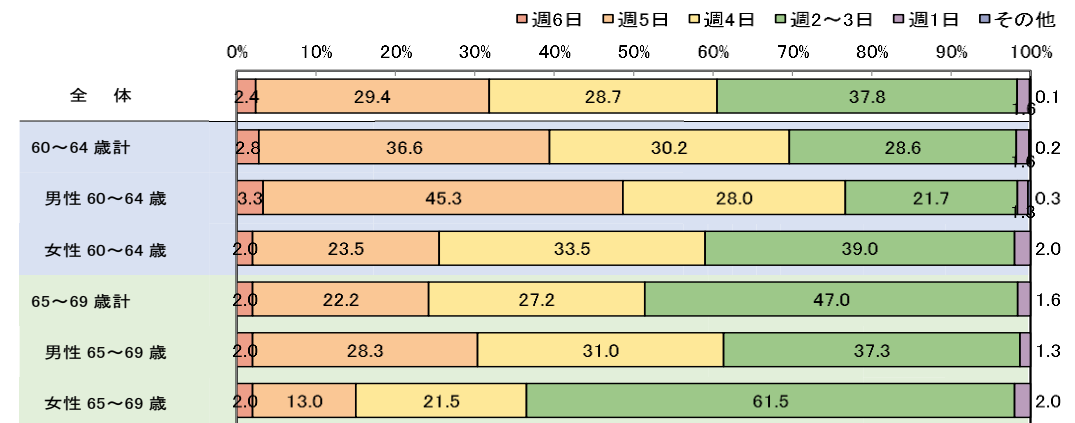


注) 黄色はその性年代区分で最も高い数値、青色は同じく2番目に高い数値

2 週に何日働きたいか（図2）

女性と男性65～69歳の各層では「週2～3日」、「週4日」、「週5日」の順に多く、一方、男性60～64歳では「週5日」、「週4日」、「週2～3日」の順に希望が多い。

図2 週に何日働きたいか

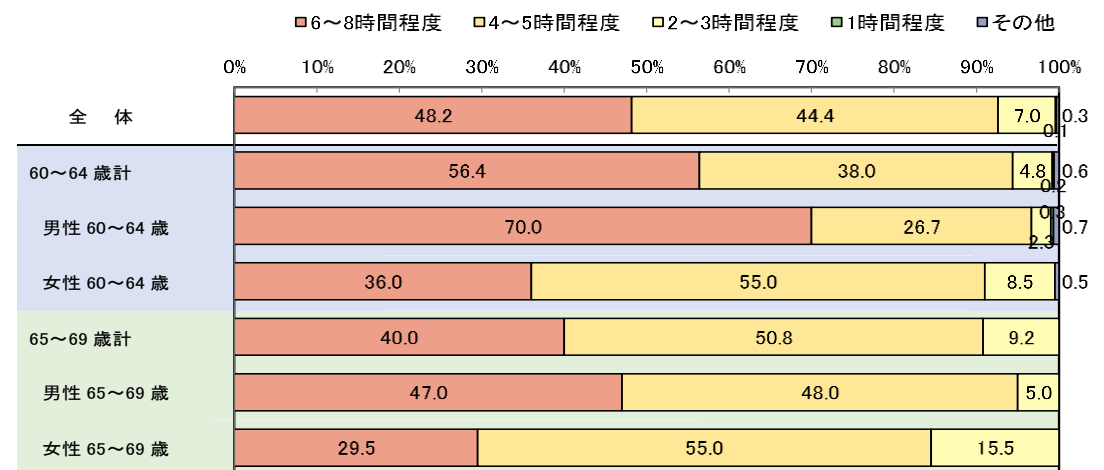


3 一日に何時間働きたいか（図3）

女性と男性65～69歳の各層では「一日4～5時間」までの時間を希望する者が5割超～7割を占め、「一日6～8時間」を上回る。

一方、男性60～64歳は7割は「一日6～8時間」を希望し、他の各層と傾向が異なる。

図3 1日に何時間働きたいか



4 個別の仕事に対する希望度（表1）

○ 事務系職種は希望度が高く、特に「行政・公的機関での事務補助（年単位雇用）」、「事務補助・雑務」、「学校校務支援」等サポート的な仕事の希望度が高い。

○ 人手不足が厳しい職種のうち、「運輸」は、「バス」、「タクシー」、「トラック」の希望者が各10%前後と少ない中、「商品ルート配送ドライバー」の希望者は約25%と一定数の希望者がみられる。

○ 「介護福祉」の仕事では、「高齢者・障害者の介助業務」の希望者が約27%と一定数の希望者がみられる中で、「福祉施設の清掃・食器洗浄などの間接業務」は更に約10ポイント近く上回る（約36%）。介護施設の仕事を取り分けることで全体的な人手不足の緩和に資することが期待できる。なお、「施設の送迎ドライバー」は、「介助業務」よりも希望する者の割合が低い。

○ 「警備」の仕事は、「道路交通誘導員」を希望する者は夜勤の有無を問わず2割に満たない。一方、「商業施設・公共施設の警備員」の希望者は、「夜勤あり」が20%とやや低いものの、「夜勤なし」では33%と一定の希望者がみられる。

(%)

	希望しない	希望したい、他に仕事があれば	希望したい	積極的に希望したい
行政・公的機関での事務補助（年単位雇用）	34.8	26.6	26.8	11.8
事務補助・雑務	35.1	28.3	26.3	10.3
商品仕分・梱包業務	36.1	41.8	19.3	2.8
一般事務	37.7	24.9	27.3	10.1
行政・公的機関での一定知識を用いた相談業務（年単位雇用）	45.5	23.2	23.1	8.2
マンション・アパート管理人	46.2	36.8	13.0	4.0
ビル管理人（来館者受付、館内巡回）	48.2	33.9	14.0	3.9
学校校務支援	49.7	32.5	14.8	3.0
駐車場・駐輪場管理人	52.7	32.3	12.9	2.1
構内運搬、仕分け	52.9	34.2	10.9	2.0
学校・保育園での学童保育指導、保育補助	58.8	26.9	11.0	3.3
ビル設備の管理	62.2	26.3	8.5	3.0
福祉施設の清掃・食器洗浄などの間接業務	63.7	28.1	6.7	1.5
店舗販売員	64.4	26.5	7.5	1.6
企業・団体等の管理職	65.0	16.0	12.6	6.4
コンビニの商品陳列・販売員	65.7	27.3	5.6	1.4
ビル・建物の清掃員	66.2	25.6	5.9	2.3
商業施設・公共施設の警備員（夜勤なし）	66.6	23.5	8.4	1.5
会計・経理事務	66.7	19.2	10.1	4.0
工場・工場敷地内の清掃	67.6	25.5	5.6	1.3
製品製造・加工処理（経験不要）	69.0	23.5	6.4	1.1
ホテルの客室清掃・ベッドメイク	69.9	23.4	5.6	1.1
高齢者・障害者の介助業務	73.1	21.4	5.0	0.5
商品ルート配送ドライバー	75.1	18.4	5.7	0.8
福祉施設などの送迎車ドライバー	75.9	17.3	5.7	1.1
プログラマー・システムエンジニアなど IT 関連職	76.5	14.4	6.9	2.2
ファストフードの販売店員	77.5	18.0	3.8	0.7
製造部門における専門技術・技能職	78.7	14.1	5.6	1.6
商業施設・公共施設の警備員（夜勤あり）	79.6	14.8	4.7	0.9
営業（販売開拓）	79.9	13.5	5.5	1.1
営業（ルートセールス）	81.7	12.0	5.2	1.1
道路交通誘導員（夜勤なし）	84.1	12.2	2.6	1.1
建設・土木、電気工事	84.3	11.6	3.6	0.5
製品製造・加工処理（経験要）	86.6	9.3	3.1	1.0
トラック運転手（荷物積み下ろしあり）	87.1	9.9	2.5	0.5
道路交通誘導員（夜勤あり）	89.5	8.3	1.2	1.0
タクシー運転手	90.2	7.2	2.0	0.6
バス運転手	91.9	5.5	2.1	0.5

ご清聴ありがとうございました